森の中にいる感覚を、
手の中にいれて持ち帰ることができる。

MORiGOTO CRAYON

『森ごとクレヨン』



WHAT WE WANNA TELL ü

「森ごとクレヨン」を通して伝えたいこと

私たち一般社団法人ASIBAは、
森林保全に取り組むソマノベース、
若手デザインユニット「6699（うずまき）」とともに、

「どうしたら森の素材や体験を暮らしへ届けられるのか」

そんな想いで開発と制作を進めてきました。

手に取り、描き、香りを感じる。

その一つひとつが、わたしたちと森をつないでいく。
使う人の興味や行動が、めぐりめぐって森へと還っていく。

そんな循環の入口をつくるために、このクレヨンは生まれました。







ソマノベース　“ ” LLC.　ASIBA

「森ごとクレヨン」3つの特徴

FEATURES

本物の木の香り

描き終えたあとには、木の香りが指先に残り、ふとした瞬間に森の気配を感じられます。伐採や森林整備の過程で生まれる、まだ十分に活用されていない木のはざいや枝葉から抽出した精油を生かしています。

枝らしいかたち

『森ごとクレヨン』のかたちは、特定の枝を真似たものではありません。たくさんの枝を観察し、そこに共通する"枝らしさ"を一つずつ拾い集めてつくりました。節の位置や凹凸、持ちやすい太さ。そうした要素を、手になじむかたちとしてデザインしています。

森で出会った色

森のフィールドワークで出会った色を選んだ「森カラー」。
そして、使いやすい基本色をそろえた「ベーシックカラー」。森の色も、いつもの色も、両方をお届けします。

森が抱えている課題

ISSUE



出典：林野庁「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」を基に作成

日本は国土の約3分の2が森林で、その約4割を占める人工林はスギ・ヒノキです。

いま、その半分が使いどきを迎えています。
現状ではまだまだあまっており、価値あるものとして扱われることは少なく、**「雑木」と呼ばれて取り除かれています。**

森に残され、見過ごされてきた未利用材たち



間伐材

混みあった林で木々が健やかに育つよう一部を間引く「間伐」で切り出される木材の総称。近年は活用が進むが、そこから出るはざいや枝葉までは十分に活かされていない。



枝葉

木の幹を用材として使う際に、製品にはならないため切り落とされ、そのまま林地に残されることの多い枝や葉っぱの総称。



タンコロ

樹木の伐採時に曲がりや太さの問題から用材として使えず、切り落とされてしまう根元や端の丸太の総称。

森ごとクレヨンのワークショップ

Welcome to WORK SHOP!

私たちは、いま森で起きている課題を
より多くの人に知ってほしいと考えています。

そのため幼稚園や保育園、小学校、
企業林を持つ企業に務める方々のご家庭などを対象に、
「つくる」と「あそぶ」の2つを組み合わせた
ワークショップを開催しています。

森から生まれた素材に触れ、色や香りを選びながら自分
だけの『森ごとクレヨン』をつくります。

森を好きになる、
最初のきっかけを子どもたちに。



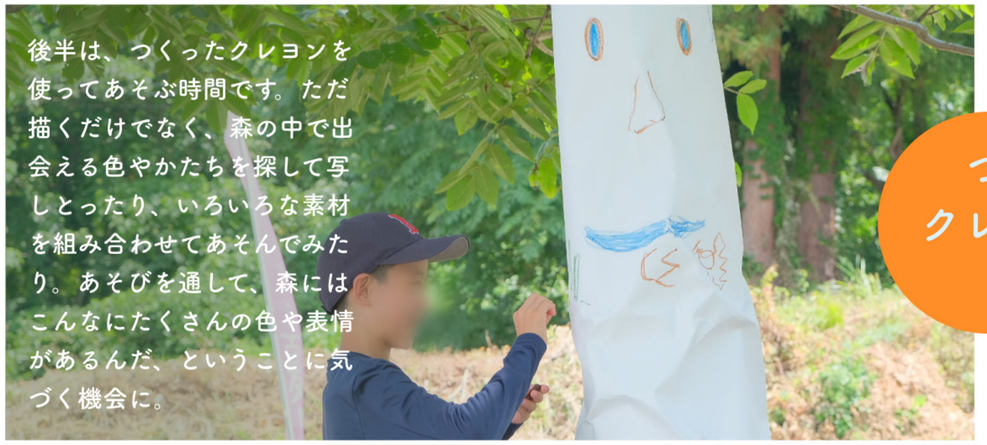
素材に ふれて 森を知る

クイズやスライドを用いて、クレヨンの原材料や香りのもとになった枝葉の観察ワークを行います。むずかしい説明ではなく、見て・ふれて・当ててみる時間にすることで、木や森のことを子どもたちが自然と知っていきます。



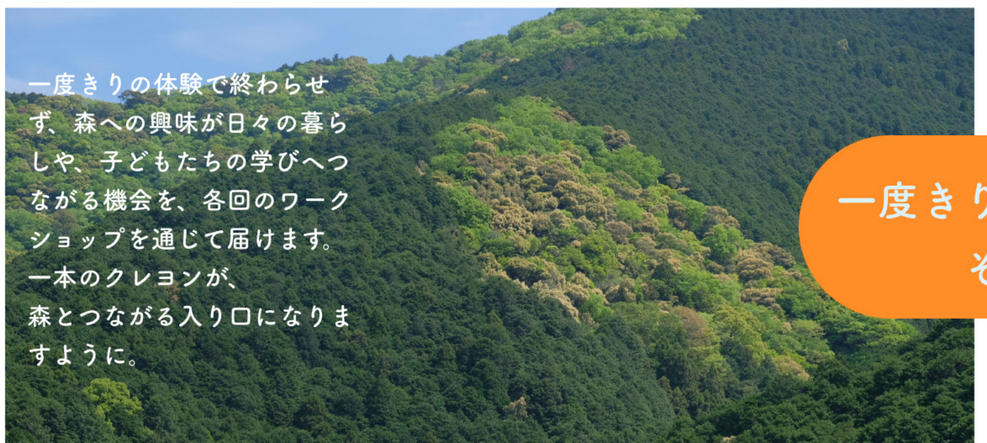
自分だけの クレヨンづくり

クレヨンをつくる様子を目の前で見てもらってから、実際に自分でつくるワークに進みます。親子で一緒に取り組むことを前提にした時間です。同じ素材に触れ、共同作業をすることを通して、森を身近に感じるきっかけになれば幸いです。



つくった クレヨンで あそぶ

後半は、つくったクレヨンを使ってあそぶ時間です。ただ描くだけでなく、森の中で出会える色やかたちを探して写しとったり、いろいろな素材を組み合わせてあそんでみたり。あそびを通して、森にはこんなにたくさんの色や表情があるんだ、ということに気づく機会に。



一度きりにせず その先へ

一度きりの体験で終わらせず、森への興味が日々の暮らしや、子どもたちの学びへつながる機会を、各回のワークショップを通じて届けます。
一本のクレヨンが、
森とつながる入り口になりますように。

MESSAGE

森をまるごと拾い上げたもの。それが私たちは好き。

森はとても気持ちがいい。
じめっとしつつひんやりとした空気。
香ばしくもツンとした香り。せわしくもまとまった色彩。

「ずっとここに佇んでいたい。」
「いっそ持ち帰ってしまいたい。」



そう思った私たちは、この森で見た色や香り、そしてかたちを、森に来たことがない人にも届けたいと思いました。私たちはそういう、「森をそのまま取り出した　ようなもの」 が欲しかったし、つくってみたかった。あれもこれもと考えていて楽しかった。

わたしたちのわがままと、
森の色や香りやかたちをぜんぶ詰め込めるものが、クレヨンでした。

描くたびに木の香りが広がるのを感じて、森が目の前にあるような気分になれる。これは、みんなにも楽しんでもらえると思いました。

「手の中から広がる小さな森との繋がりを感じて、
いつかはほんものの森に足を運ぶきっかけをつくりたい。」

そんな想いから、このプロジェクトを始めました。

ソマノベース

株式会社ソマノベース
クリエイティブディレクター
西来路 亮太

MORIGOTO CRAYON TEAM

MESSAGE



森の色や香り、その気配を丸ごと届ける『森ごとクレヨン』をお届けできることを、大変嬉しく思います。描くたびに広がる香りに触れ、手の中の「小さな森」を感じていただくことで、いつか本物の森へ足を運ぶきっかけになれば幸いです。このクレヨンが、みなさまの暮らしと森を優しくつなぐ入り口となることを願っております。

株式会社ソマノベース
プランナー
浅利 知波瑠



あまりに身近で、つい忘れてしまう当たり前を、もう一度手のなかに取り戻したい。その願いを、子どもがいちばん最初に握る「クレヨン」に込めました。行き場をなくし捨てられていた木材が、誰かの絵の中で色になる。その循環の最初の一歩を、あなたと一緒に踏み出せたら。森ごと、あなたの手のなかへ。どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人ASIBA
共同代表
森原正希





私たち「6699（うずまき）」は、多摩美術大学プロダクトデザイン専攻で出会った、
同期二人によるデザインユニットです。
『森ごとクレヨン』は、6699として私たちが世に送り出すはじめてのプロダクトになります。学んできたことを持ち寄り、クレヨンの形状設計から、素材・配合の検証、パッケージまでを手がけています。手にとった人が森を感じられるような、体験そのもののデザインができればと、日々一つひとつの制作に向き合っています。私たちにとっても大きな挑戦ですが、その第一歩をみなさまと一緒に踏み出せたら嬉しいです。応援、よろしくお願いいたします！

合同会社6699
デザイナー
峯村 瑠一/竹田 樹生

MORIGOTO CRAYON TEAM



森の中にいる感覚を、
手の中にいれて持ち帰ることができる。

MORiGOTO CRAYON

『森ごとクレヨン』

製品概要

【クレヨン単体】
サイズ：約長さ120mm× 直径17mm
重さ：約15g（1本あたり）

【素材・仕様】
材質：蜜蝋、ひまし油、ステアリン酸、顔料、精油
対象年齢：3歳以上
製造国：日本

※天然の素材を手作業で加工しているため、色・かたち・大きさに一つひとつ個体差があります。
※食品ではありません。口に入れないようご注意ください。
※あそび終わったら手を洗ってください。
※直射日光と高温を避けて保管してください。

クラウドファンディング
いよいよ！！

2026/09/17（tue）——————— 2026/11/22(sun)

リターン：クレヨン、限定ぬりえ絵本、など全16種

お気に入り登録も
お願いします！

応援はこちらから

森の中にいる感覚を、
手の中にいれて持ち帰ることができる。

MORiGOTO CRAYON

『森ごとクレヨン』